

# 紙器・印刷版

## 作業と仕事区別し効率化

### 大創DSCセミナー 創ミス事例詳細に

抜型および関連資材メーカーの大創(大阪府大東市)は3月29、30日の両日、大宮ソニックシティ(さいたま市)で、DSCセミナー「アビッド・フレックス×大創コラボセミナー」を行なった。同イベントは、紙器段ボール企業など顧客の営業力強化や、生産性向上を支援することを目的に全国で行なっているもの。紙器段ボール企業の経営者や現場担当者を中心に参加し、製版や打抜きをテーマに研鑽を深めた。



「パッケージ業界における新たな営業展開」

「生産現場における自動処理(RPA)の検討と活用について」はアビッド・フレックス(株)の川村真幸氏(写真①)が講演。近年の印刷業界は紙

「パッケージ業界における新たな営業展開」

「生産現場における自動処理(RPA)の検討と活用について」はアビッド・フレックス(株)の川村真幸氏(写真①)が講演。近年の印刷業界は紙

「パッケージ業界における新たな営業展開」

「生産現場における自動処理(RPA)の検討と活用について」はアビッド・フレックス(株)の川村真幸氏(写真①)が講演。近年の印刷業界は紙



新規案件を増やすヒントとしては海外の事例から、オレンジ色の教科書用段ボールを見た瞬間に「あれは教科書の箱だ」と分かるような「プランニング」や「ユーザー体験」を重視し、そこから製品の価値を理解し具現化、ひいてはクライアントのビジネスに川上から参加すべきと言及。そのツールとして画面上でサンプル作成し様々な方向から見たり配置できる3Dモックアップや、偽造防止の各種印刷などが、製版側からの提案として有効とした。偽造防止については、ホログラムや蛍光インキなど製造工程やコストが増加し真

「クレーム事例と解決策&受発注の効率化 SAKURA」

「紙粉・ビビリ現象の解説と改善&最新打抜き加工技術」は大創技術部の長江光史氏(写真②)が講演。かつて段ボール現場でオペレータを務めた同社に移籍、抜型製造および関連資材販売を経て現在に至るまで20年のキャリアを身に、自身のトラブル事例など交えて解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。

「なぜオペレータによって出来る出来ないと言っていることが変わる？」(営業、)「時間が無いなら間違いを探しよな改版データを寄越すな」(DTP)など、確認一つでも認識がバラバラで非効率な場合が多く、入稿データの自動確認システムだけで解決できる事例を挙げ、システムの活用なしに効率化は不可能な現状を解説した。